



文・和田悟朗
カメラ・緒方しげを

長考の顔

一王山十善寺

その記憶はじつに古い。狐やまむしが出没した山中の小径は、静かで夏はむんむんし、秋は清々しかった。寺裏の八十八の霊場を登りきると、石の円穴を通して、海の向うに高野山が真正面にあった。しかし、周囲が開けたいまは何と近くの寺であることか。

いつも坂あり坂越えて
秋の一日

今も急な石段じき人みな登り

秋の日の仁王は高き幼児なり



飛松の谷

こんなところにひっそりと大きな地蔵が佇んでいることを知っている人は少ないだろう。中学校の裏にまわると、狭い墓があり、そのすぐうしろに、石地蔵は谷間の湿りに堪えて佇む。有名ななるのを嫌うかのようにその横に住む男は地蔵について何も教えてくれなかった。由緒ありげなその名は川上地蔵。

墓をあばく日矢つぎつぎに干し草に
地蔵熟すよ少年らしき
明日を望み



十六羅漢

一の谷のあたりは北陸の海岸を思わせるほど山が近い。海岸からわずかに登っただけであるが、鯖大師の羅漢らはすでに薄暗い山気の中に坐す。うつすらと微笑む像もあるが、多くは怒っている。その一つずつの前に立つてみると、永い年月の思いが、沖をゆく船の音に交って聞えてくる。

雨の海羅漢と遊ぶとき
聞こゆ

羅漢の傷海へ流るる水
滞り

生涯を一塊の石佛カン
ナノ海



秋草のささやきがめぐる
ヌーベルなシューズの
つどいをお見せします

本格派の人々に愛されるヨシオカの靴

★靴のオーダーメイド

ヨシオカ

- 神戸店 大丸前 33-5190・9763
- 東京店 東急百貨店 渋谷 462-3436(直)
- 池袋店 パルコ 日本橋 211-0511(代)
- 池袋店 パルコ 987-0577



薦の葉にやどるしづくが
カジュアルコートに光るとき
男の優雅な世界です

世界のオシャレをおとどける

うね

神戸店 神戸市生田区元町通1丁目64
TEL. (078) 33-3112

東京店 東京都渋谷区道玄坂2-24-1
東急百貨店本店4階(渋谷)
TEL. (03) 462-3435(直通)

東京店 東京都中央区日本橋通1ノ9ノ2
東急百貨店日本橋3階
TEL. (03) 211-0511内線631

★今月のモデルはオリバーエバンス商会の
ウォルター・マリッジさんです。



通りがかりの人たちに、酒の香が誘う季節

家庭的な一品料理も用意しております。

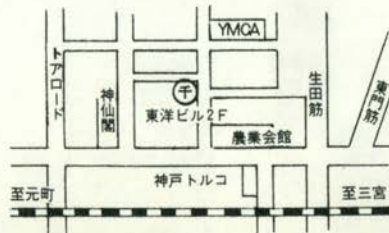
営業時間 PM5:00～AM2:00 日曜・祭日も営業しています

スタンド

千

千葉みどり

神戸市生田区中山手通 2 丁目93
東洋ビル2F TEL 39-1077





★FUROYA is BEST やっぱりコウベビーフです。

今月のFUROYA SALONのお客さまは三愛とリコーの神戸店にお勤めのみなさん。左より三浦正之氏〈三愛神戸三宮店営業二課長〉一人おいて田中孝男氏〈三愛神戸三宮店営業一課長〉横田雄彦氏〈三愛神戸三宮店々長〉一人おいて永井宏幸氏〈三愛神戸三宮店総務課長〉池辺賢一氏〈リコー神戸営業所長〉のかたがたです。

横田「神戸へ来てなにが嬉しいといって食べものとお酒の美味しいこと。この石しゃぶしゃぶはママのアイデアでハワイで思いついたんだって」、永井「御影石でなきゃ壊れるそうだよ」、田中「でもなんといつたってコウベビーフがうまいから成功したんですね」、三浦「FUROYA is bestノですね」。

★民芸風レストラン

阪急
六甲
数煙屋

神戸市灘区宮山町3丁目9

TEL (078) 88-1081

PM 4:00-12:00 年中無休



お食事処

めばえ

下山手通 2-31
TEL 33-6792



姫路城の
古材を使った
インテリア
毎日楽しいおそうざいが
かわる店
めばえ
日曜休日



新世紀
めばえ
ユーハイム

スナック

むーらん
るーじゅ

中山手通 1-111
TEL 33-2855



あなたのいこいの部屋
“むーらんるーじゅ”
生田の森の片すみに
天井・壁面のキャンパスに
ちよつぱりフランスムードが
顔をのぞかす
恋を語り、歌い、飲もう
秋の夜長のひと時を

生田新道
むーらん
るーじゅ
おいくつ
おいくつ
生田新道

ママは美人なことから内藤武敏氏
ポピーがとっても好きよと久保まづるかさん
アンネの日記公演のため神戸を訪れた
民芸の方々も薔薇屋のごひいきです。



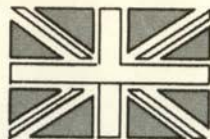
Drink
& Snack

薔薇屋

生田区北長狭通 5 丁目19-4
TEL 35-4311

★薔薇屋フレッシュメニュー

- 片想いのあなたにあわびのステーキ
- エネルギーな君にKOBEE BEEF
- 通の方にはBEEFのおさしみ
- かわいい彼女にフレッシュサラダ
- イキな彼にはBEEFシチュー
- ちょっとお年を召した方にズッペ(貝)のシチュー
- ムードある紳士に肉や魚の焼板焼



舶来居酒屋
ティールーム
英国屋

生田区下山手通 2-6 相互タクシー横
TEL 33-1100 33-6600

★年中無休

●MENU ★ティールーム

OPEN	珈琲	¥ 300
12:00AM	紅茶	¥ 300
6:00PM	フレッシュジュース	¥ 300

★舶来居酒屋

OPEN	スコッチウイスキー	¥ 900
6:00PM	(W)	
1:00AM	コニャックウイスキー	¥ 900
	(W)	



★ウォルスター・スコット卿があるロマンチックとは言えない気分の折こんな言葉を書きました。

「陽気に楽しみもせず、音楽なしで食べる晩さんは、消化不良の元である。」

ピッツァハウス「カンパリー」は、この言葉の真意を心得、中央クラスにスペインから取り寄せた枯れ井戸を配し、南欧のムードをたどわせた明るく、陽気な雰囲気を持っている。

食欲をそそる40種類に及ぶピッツァは、たっぷり使ったチーズのまろ味に、肉、ベーコン、マッシュルームなど、お好みの味を選びだせる楽しみがある。

午後11時まで営業し、夜にはリズムバンド、白いグランド・ピアノ、それに真赤なイタリアのリキュール酒・カンパリー、夜には、ますますムードが高まって行くピッツァハウスである。ピッツァ ¥ 330

営業時間 午前11時から午後11まで。



カンパリー

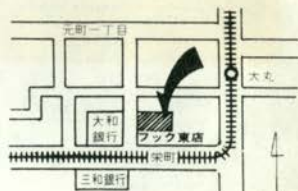
★味覚に合うインテリアはなかなか難しい。品が良くて、テーブルを囲む人々を暖かく包んでしまうものでなければならない。炭焼きステーキの肉そのものの風味を、更に生かすものでなければならない。

レストランにとって、コックもマスターも、そしてママも、その店のインテリアになりきっていなければならない。そしてテーブルにかかる灯りも、キャンティも、メニューも、そのテーブルを生かさねばならない。

今日は、カネボウ大阪本社の北村さんが、友人を連れだつてきて、「フック東店」でステーキを注文。1階のこじんまりしたテーブルで、遅くまで話がはずんだ。

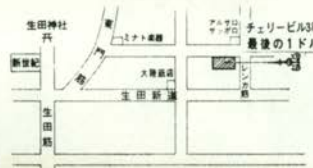
潮風の近い「フック東店」は、神戸らしい、食べる人の身になったインテリアとサービスで神戸ステーキが味わえると定評のあるレストランである。

営業時間 AM10:30～AM11:00 年中無休です。



フック東店

KOBE GUIDE



最後の1ドル

★秋の夜は、夕焼けが空を染め、深まり、朝焼けの薄れるまで長く長く続いている。静かな気持ちで、あらためて時間を気にする頃だ。

生田新道のレンガ筋を北に入った左に、レストラン・バー「最後の1ドル」がある。

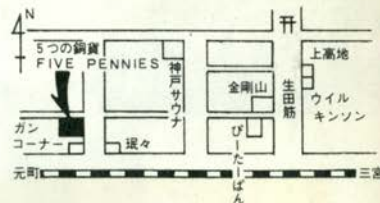
今夏にオープンしたシックな英国調のインテリア。25坪の落ち着いたスペースに、関西で初めての自動ピアノ（米国製・キンボールピアノ）が軽快なメロディをかなで、その音色に気軽に入りたくなる店だ。

drinking, eating, singing, and dancing. Come on, old and young と呼びかける「最後の1ドル」は、時のたつのも忘れるほど、それもドル入りの最後の1ドルまでも失ってしまいそうな素敵なお店です。

スコッチ類 ¥ 600 ビール ¥ 200 付出し ¥ 200

その他、オールド・ミネラル又はコーラ割り 1ドル（¥ 360）

PM6:00～AM2:00 日曜休。



5つの銅貨

★神戸はコスモポリタンな街だ。それだけに、神戸の楽しいスナックは神戸の人以上に東京に知られてしまう。

現代の若者と、その若やいだエネルギーに溢れるスペースは、誰でもが求めている生きがいでもある。

煉瓦に赤いローソク、蛇輪の上のランプと漁網、それと鉄棒に自然石が埋まるクールなテーブル、そのいずれもが、神戸の、阪神間の、東京の若者に知られた「5つの銅貨」のイメージでもある。

飲み、喋り、そしてギターに唱和して歌える独特の山小屋風の造りでは、隣り合う者がすぐ友達になれる親しきを持っている。

「5つの銅貨」を訪れる者がつくりだす一人一人のイメージが、なごやかな楽しさにまで発展していくのだろう。

グラタン ¥ 300～500 ビール（小）¥ 250

PM6:00～AM2:00



ピッツァハウス
カンパリー

神戸・三宮センター街
ベル1F奥
TEL. 33-0020



HOOK フック 東店

神戸市生田区栄町1-5-3 TEL. (078) 32-3207~8

KOBE GUIDE

Restaurant Bar

最後の1ドル

生田区北長狭通1-41
チェリービル3F
TEL. 39-2173



グラタン小屋

5つの銅貨

三宮・金剛山西入る
TEL 39-1438





DRINK & SNACK

スネカジリ子

中山手通 2丁目13
永晃ビル地下
TEL 39-8708



club **ジュイス**

生田区下山手通2-29
コウベビル地下
TEL 39-5065

KOBE DRINKING GUIDE

MORE MORE

生田区中山手通 1丁目107
TEL 33-4728



スナック

生田区生田神社前
ふじやビル 2階
TEL 33-1359



★海辺でひたすら肌を焼いた夏とちがって、また、台風が来るぞ、来るぞといわれて、まだむし暑い日々を過ごしてきた夏の終りと違って、畑一面に金色の稲穂がさざさわと風に揺れるようになると、街の人は、それだけで秋の感傷に浸りきってしまう。

そういった街の人が、若いなら若いなりに、年輩の人ならそれだけの年を誇って、お互いに肩を触れ合うのが、神戸の“スネカジリッコ”であろう。

ママの桂子さんへの共感、若いパターンさんたちへの共感、そして隣りに坐る人への共感、いずれもが、店そのものへの共感となって眠っている。飲むための、さらにたいせつな語るための共感の場が、この店を訪れる誰にでも与えられているのです。

営業時間 PM 5:30～AM 1:00 第1、第3日曜日は休み。

水割G & G ¥300、ビール(小) ¥200、ミニチュアピン(W) ¥500



スネカジリッコ

KOBE DRINKING GUIDE



モアモア

★赤と紺と白。これだけのシンプルな色合いが、眼には強烈そうに見えるが、“モアモア”に足を踏み入れて、靴をぬぎ、どっかと腰を落ちつけると、六つのランタンに照らされた深紅のジュウタンが、やわらかく来る人を包んでくれる。

固い椅子で一日のビジネスを終えたものにとっては、この“モアモア”の色調と坐り心地は、ありがたいものである。

生田新道、赤い靴の北側にできて、この10月26日で1周年になる。それを記念して、10月26、27、28日の3日間には、マスターからの楽しいプレゼントが用意されている。

ビール(小) ¥300、ウイスキー ¥400、フイズ ¥400、バターコーン ¥300

その他、いろいろと軽食も楽しめる。チャージ・サービス料はいっさいありません。営業時間 PM 6:00～AM 2:00

★街路に訪れる季節は、本当に心から飲んで楽しめる人たちの口実にすぎない。真の神戸の夜は、いつも季節に関係なく、クラブ“ルイス”の音と光のメロディアン・サイカラーから始まっている。

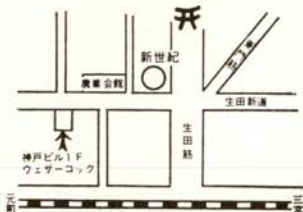
神戸ビル地階にあるクラブ“ルイス”が神戸に登場して、この10月で早一年。今月は一周年を記念して、飲み放題のパーティなど楽しいことが用意されているとのことだ。

柔らかなトーンのソファに腰をかけて、あらためてルイスガールズとの会話を楽しむのもよし、中央のゴージャスステージの超ミニのルイスガールズのエネルギーを見るのも面白い。

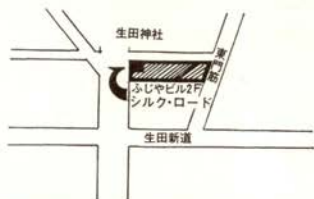
ハイクラスのクラブ“ルイス”をお手軽な料金で満喫できるのが何よりである。

日曜・祭日は休みます。

ルイス



シルクロード



★街角でたむろするのが、流行の若者のポーズなら、キュートなたたずまいとスペイン風のランタンのもとで、席を隣りにする若者とのグラスの交流が神戸で楽しめる新たな若者の憩いの場がある。

京都の同志社大学の横で、ジャズ喫茶“ビッグ・ビート”を開いている松井正敏さんが、神戸に本当のスナックをと、7月15日にオープンしたのが、スナック“シルクロード”である。

ホームバー的な雰囲気の中で、ヅカジェンヌとの語り合いもあれば、英会話・通訳を趣味というマスターの関係で、エトランジェとすぐ親しになれるムードがある。

きれいな器に入れた特製シルクジュー(¥400)は、自慢の洋風おじやで、ベーコン、玉ねぎ、パセリ、ネギなどの風味を十分に生かした粋な味。

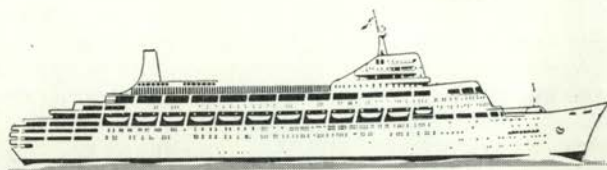
ビール(小) ¥250、水割り ¥350 営業時間 PM 6:00～AM 1:00

PORT KOBE

The Canberra Fashion Salon

キャンベラ ファッション サロン

神戸港へ入港した
ときに開きます



10月30日

午前11時 } 予定
午後1時 }

キャンベラ・ファーストサロンで豪華ファッションショー

パリコレクション・コウベファッション・パールファッションなど
世界のKOBÉならではのプログラムをお見せいたします。

■お問合せは ■22-7037・22-8072へ

主催 神戸ファッション情報センター 後援 神戸っ子・オール関西・スワイヤマッキンノン

第3回神戸っ子クルーズ キャンベラ号 英国豪華客船 (45,000トン) 秋の香港・マカオ船の旅

●船旅の優雅さを満喫しよう!!

★旅行総費用 152,000円〈ファーストクラス〉
142,000円〈ツーリストクラス〉

10月30日～11月6日〈7泊8日〉

神戸港出発——長崎寄港——香港——マカオ——香港——大阪空港

★費用には船代、ホテル代、食費、飛行機代を含んでいます。

★くわしい旅程がご入用の方は神戸っ子編集部までどうぞ。

お申込みは ■神戸っ子編集部

TEL 22-7037・8072係岡本邦彦

■ドッドウエルトラベルサービス

TEL 大阪〈203〉5151・神戸〈39〉8031



来春の船の旅スケジュールお知らせ ★あなたの船旅プランのご相談をおうけいたします。

S 46年2月ヒマラヤ号 (28,000トン) シドニー→グアム→神戸(2月19日)→横浜→ホノルル→サンフランシスコ經由英国へ

S 46年3月オロンセイ号 (28,000トン) シドニー→シンガポール→香港→神戸(3月1日)→横浜→ホノルル→バンクーバー→サンフランシスコ經由英国へ

S 46年3月キャンベラ号 (45,000トン) サンフランシスコ→ホノルル→横浜→神戸(3月22日)→長崎→香港→シドニー→サンフランシスコ經由英国へ

船旅のお問合せは ■大阪市東区淡路町3-39 スワイヤマッキンノン船客部 (06) 202-2381

■神戸市生田区江戸町103 スワイヤマッキンノン船客部 (078) 39-7511